

IIPE (International Institute of Peace Education, 国際平和教育研究集会)

浅川 和也

はじめに

平和学の国際学会として、IPRA (The International Peace Research Association, 国際平和研究学会) がある。また IPB (International Peace Bureau, 国際平和ビューロー) といった運動団体をつなぐ活動や、核兵器廃絶など課題別の国際的な運動の展開、また平和博物館のネットワークなどもあるが、平和教育への「研究・実践の場」として独立したものを探することは難しい。ここでは、IIPE (International Institute of Peace Education, 国際平和教育研究集会) に着目し、その概要と歴史、特徴について述べる。

1. IIPE 概要

IIPE (International Institute of Peace Education) は名称にインスティテュートを用いているが、国際平和教育研究集会と訳され、平和教育の理論を発展させ、実践および政策提言をすすめることも目的としている。

学会や研究会が、もっぱら学術研究を目的とするのにたいして、このインスティテュートでは、参加者がともに生活をするなかで学び合うという要素がつよい。パネルのセッションでもダイアローでのペア活動の後、グループ、そして全体での論議がなされる。また、とともに参加者が応募にあたって申請するワークショップもなされる。他に、フォールドワークで地域を探訪して、グリーンマップをつくるなどの活動も組み入れられたこともあった。グループによるふりかえりでは、寸劇やポスターをつくるなど、創意工夫がこらされる。

IIPE には、大学などの研究者とともに、実践家も参加している。近年の IIPE では、多様な参加者を得るように配慮されている。アジア・アフリカからの参加者には、参加のための助成もなされる。国際平和ビューローは 2005 年度のユネスコ平和教育賞に IIPE を推薦するにあたり、IIPE を「おそらく平和教育を多くの教育者にひろめる、もっとも有力な非政府組織」と評した。

2. IIPE の特徴

IIPE は平均 50 人ほどの参加者によってなされる 1 週間にわたる集中プログラムである。内容とともに、方法が重要とされ、IIPE では参加者の参加によってなされるようプログラムが構成される。

IIPE では発表者も参加者であり、参加者は双方向に、相互に学ぶことができるような仕組みになっている。全体会として、理論的な基盤を得るためのパネル (シンポジウム) があり、そして参加者によるワークショップもなされる。

全体会でも、内容にたいして、グループで話し合い、共有するようにすすめられる。さら

に、参加者によるふりかえりグループがつけられ、毎日の出来事を深める時間がつけられている。参加型ですすめることにより、IIPE では、仲間どうしのコミュニティができていくさまを経験することができるのである

3. IIPE の歴史

平和教育の研鑽を深める場である平和教育国際研究集会 (IIPE) は、最初 1982 年に米国・ニューヨークのコロンビア大学ティチャーズ・カレッジで開かれた。ベティ・リアドンらによってはじめられ、運営はベティ・リアドンが引退するまで、コロンビア大学ティチャーズ・カレッジ平和教育センターによってなされていた。その後を、トニー・ジェンキンスとジャネット・ガーソンが引き継ぎ、一時、ナショナルピースアカデミーが運営の窓口となった。

1985 年までは米国で、1986 年に日本の国連大学で開かれている。その後、1988 年にそれぞれフィリピンとカナダで、開かれたこともあったが、主には米国において開かれていた。以降、次のように、世界各地での開催がなされるようになる。大学との共催でなされた場合には単位認定がなされたこともあった。

2000 年：インド・プネー[マヒンドラワールドカレッジ]、2001 年：レバノン・ビブロス [レバノンアメリカン大学]、2002 年：フィリピン[ミリアムカレッジ]、2003 年：韓国[APCEIU, アジア太平洋センター地区国際理解教育センター]、2004 年：トルコ・イスタンブール[サバンジュ大学]、2005 年：ギリシャ・ロードス、2006 年：コスタリカ[University for Peace]、2007 年：スペイン・バスク、2008 年：イスラエル・[ハイファ大学]、2009 年：ハンガリー・ブダペスト[EJBO 財団]、2010 年：コロンビア・カタルヘナ、2012 年：日本・埼玉、2013 年：プエルトリコ、2015 年：米国・オハイオ[トレド大学]、2016：ベルリン[IPB 国際平和ビューロー大会]

当初は、主に北米を会場としていたので、米国からの参加者が多いが、南米やアジア、ヨーロッパ、アフリカからの参加者もあり、国際的なネットワークを形成している。

4. 日本とのかかわり

1992 年には日本の東京 YMCA 国際奉仕センターを会場として、宮部直の尽力でなされた記録がある。神田にあった YMCA 会館は老朽化し、YMCA 創立 110 年を記念して 1991 年にホテル・学校・ジムを統合した国際奉仕センターがつけられた。IIPE はニューヨークのコロンビア大学ティチャーズ・カレッジではじまり、東京 YMCA はニューヨーク YMCA とのパートナーシップがあったことからの開催であったように思われる。

TESOL (第 2 外国語としての英語教授法) を専攻とするコロンビア大学ティチャーズ・カレッジ日本校が、1987 年、東京に開校した (2013 年に閉校)。そのプログラムにおいて、ベティ・リアドンは 1990 年に平和教育を担当するようになる。1996 年に国際基督教大学 (ICU) において IIPE が開かれるが、運営にあたったのは主に TESOL を専攻した者たち

であった。

ふたたび、日本での IPE が 2011 年に予定されていたが、東日本大震災のため順延され、翌 2012 年に国立女性教育会館を会場として開かれている。

ベティ・リアドンは神田外語大学や 1997 年には神戸大学に、2007 年には立命館大学にも客員教授として滞在した。また、コロンビア大学ティチャーズ・カレッジ日本校には平和教育認定プログラムが置かれたこともあり、たびたび、来日している。

ベティ・リアドンはミリタリズムとジェンダーとの連関を指摘していて、沖縄の女性らによる運動との関わりも深い。「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク (VAWW-NET ジャパン) との関わりもあり、2000 年に開かれた「女性国際戦犯法廷」の際に来日した。「ノーベル平和賞に 1000 人の女性を」というキャンペーンでは、1000 人の一人となっている。

5. IPE から CIPE への展開

IPE は 30 年以上にわたり、国際的なネットワークの場となってきた。しかし、より重要なのは地域での活動を促進することとされ、IPE の 25 周年 (2007 年) を機に CIPE (コミュニティ平和教育インスティテュート) が構想され、マニュアルも出版された。

CIPE は IPE という世界的なネットワークと連動し、地域における平和教育の場をつくる。地域での問題を地球規模の問題と関連づけながら、平和や安全保障といった意見のわかれる問題への政策提言を地域からおこなうことも推進されている。

これまでコロンビアやインド、ペルー、フィリピン、ウクライナで実施されたという記録がある。

6. ハーグアピール平和教育地球キャンペーンとのかかわり

IPE に関わる主なメンバーは、2000 年以降、ハーグアピール平和教育地球キャンペーンの推進に尽力している。平和教育地球キャンペーン(GCPEJ)は、平和教育を制度化する政策提言をすすめるためのものだ。1899 年のオランダのハーグでの平和会議から 100 年経つのを記念し、1999 年に同じ場所で、市民による大規模な平和会議が開かれた。そのなかで、教育の重要性が認識され、平和教育地球キャンペーンを推進することになったのである。その指針は『戦争をなくすための平和教育』(明石書店)として翻訳されている。

教育の目的は平和を実現することであるというのはまちがいないが、教育制度は国家主権のもとにあり、市民からの働きかけによる改革は難しい。しかし、IPE およびハーグアピール平和教育地球キャンペーンに参加するメンバーの尽力によりフィリピンでは、「初等教育と教員養成課程に平和教育制度化する大統領令 570」(INSTITUTIONALIZING PEACE EDUCATION IN BASIC EDUCATION AND TEACHER EDUCATION)が 2006 年に発布された。また、コロンビアでも紛争後の平和構築において、平和教育が重要だとされ、制度化の動きがある。IPE という国際的な動きが、地域や国家における政策に結実した例として、貴重である。

注

IIPE (International Institute of Peace Education, 国際平和教育研究集会)

<http://www.i-i-p-e.org>

ベティ・リアドン / アリシア・カベスード著, 藤田秀雄 / 浅川和也監訳『戦争をなくすための平和教育』(明石書店)

平和教育地球キャンペーン (GCPEJ) <https://gcpej.jimdo.com>

Community-Based Institutes on Peace Education (CIPE) organizer's manual

<http://www.i-i-p-e.org/wp-content/uploads/2014/09/CIPE-MANUAL.pdf>